

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

ビフェニルのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

第 1 0 1 1 4 号

試験方法

本試験はOECD化学品テストガイドライン 203「魚類急性毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質：ビフェニル
- 2) 曝露方法：半止水式(24時間毎に全量換水)
- 3) 曝露期間：96時間
- 4) 連 数：1濃度区 2連
- 5) 供 試 魚：ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 6) 供試魚数：10尾／濃度区(5尾／1連)
- 7) 試験水量：8 l(4 l／1連)
- 8) 試験水温：24±1℃
- 9) 照 明：室内光，16時間明／8時間暗
- 10) 給 餌：無給餌
- 11) エアレーション：無し
- 12) 試験濃度：対照区，助剤対照区，1.0，1.8，3.2，5.6及び10 mg/l
- 13) 試験水中の被験物質の分析：ガスクロマトグラフ質量分析法(曝露開始時及び24時間後の換水前，72時間後の換水後及び曝露終了時)

結 果

被験物質の実測濃度が設定濃度の±20 %を越えたため，下記の結果は実測濃度より算出した。

- 1) 半数致死濃度(LC₅₀)
LC₅₀(96hr)：3.9 mg/l (Binominal法)
- 2) 0 %死亡最高濃度(96hr)：3.0 mg/l
- 3) 100 %死亡最低濃度(96hr)：5.0 mg/l